

英語科学習指導案

日 時：

学 校 名：

展開学級：

授 業 者：

1 単元名 PROGRAM 5 The Story of Chocolate (SUNSHINE ENGLISH COURSE 3)

2 単元の目標

- (1) 関係代名詞の主格 (who・which・that) などの意味や働きを理解する。〔知識〕【知識・技能】
- (2) 関係代名詞の主格 (who・which・that) などの意味や働きの理解をもとに、くわしく説明された人やものについて聞き取ったり書いたりする技能を身につける。〔技能〕【知識・技能】
- (3) ある人やものについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできるようにする。【思考力・判断力、表現力等】
- (4) ある人やものについてについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、意欲的に簡単な語や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとする。【学びに向かう力、人間力等】

3 単元について

本単元では、学習指導要領外国語第2 英語の目標 (3) 話すこと〔やり取り〕イ「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。」に重点を置いて指導を行う。

本単元では、チョコレートの歴史やフェアトレードをテーマとし、単元を通してチョコレートの歴史やカカオ農園の労働者の生活環境を知ることができる。また、チョコレートの原料であるカカオのフェアトレードの導入によって、労働者の生活環境がどのように変化していくか考えることができる内容である。フェアトレードの必要性や、発展途上国の労働環境が記された資料を使い、日本での生活と異なっている点をじっくり考えさせ、自分の考えを英語で表現させたい。そしてこの単元を通して、国際社会に貢献できる人間力を向上させたい。

本単元で扱う言語材料は、関係代名詞の主格 (who・which・that) である。疑問詞 who は、小学校5年生の Lesson6 「My Hero」、小学校6年生の Lesson8 「What sport do you like?」で学習している。疑問詞 which と代名詞・形容詞・接続詞の that も中学校で既に学習した単語である。本課では、小学校と中学校での学びを生かし、who・which・that を含む例文を文法理解の場面で提示することで、それぞれ単語がもつ共通のイメージをつかませたい。単元の最後に設定される Interact では、ある人物やものなどを想定してスリーヒントクイズのやりとりをペアで行う。関係代名詞の主格 (who・which・that) を使って名詞を他の表現で相手に伝えられるようになることで、表現できる幅が大きく広がるとともに、生徒のコミュニケーション活動への意欲はさらに高まる題材であると考えらる。

本研究会の外国語教育研究のテーマである「主体的・対話的で深い学びを実現するための指導と評価の工夫」に関しては、「ペアワーク」と「4技能の目標の明示」の2つの手段で主体的・協同的な学びにつなげたい。ペアワークでは、英語を繰り返し使っていく過程で、気づいた間違いを少しずつ修正し、友達

が使っている表現を積極的に取り入れることを強く意識させたい。また、単元を通して目指す4技能それぞれの目標を生徒に明示することで、生徒は常に目標と現状を照らし合わせ、主体的に学習に取り組むことができるようになると思う。

4 生徒の実態 割愛

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〔知識〕 関係代名詞の主格（who・which・that）などの意味や働きを理解している。 〔技能〕 関係代名詞の主格（who・which・that）などの意味や働きの理解をもとに、くわしく説明された人やものについて聞き取ったり書いたりする技能を身につけている。	ある人やものについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	ある人やものについてについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、意欲的に簡単な語や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。

6 指導と評価の計画（1/8）

	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	・ 関係代名詞主格(who)の用法を理解し、将来どのようにになりたいかについて表現する。(Scenes 1)	〈知識〉関係代名詞の主格(who)などの意味や働きを理解している。 〈技能〉関係代名詞の主格(who)などの意味や働きの理解をもとに、くわしく説明された人やものについて聞き取ったり書いたりする技能を身につけている。	記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に把握し、指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。	
2	・ 関係代名詞主格(which)の用法を理解し、動物についてクイズを作る。(Scenes 2)	〈知識〉関係代名詞の主格(which)などの意味や働きを理解している。 〈技能〉関係代名詞の主格(which)などの意味や働きの理解をもとに、くわしく説明された人やものについて聞き取ったり書いたりする技能を身につけている。		

		のについて聞き取ったり書いたりする技能を身につけている。		
3	関係代名詞主格(that)の用法を理解し、友達をある場所に誘う。(Scenes 3)	〈知識〉関係代名詞の主格(which)などの意味や働きを理解している。 〈技能〉関係代名詞の主格(which)などの意味や働きの理解をもとに、くわしく説明された人やものについて聞き取ったり書いたりする技能を身につけている。		
4	- 本文の確認と音読練習をする。 - チョコレートの歴史について考える。(Think 1)	記録に残す評価は行わない。	チョコレートの歴史やフェアトレードについてほかの人に伝えるために、会話を読んで、概要や要点を捉えている。	記録に残す評価は行わない。
5	- 本文の確認と音読練習をする。 - チョコレートの歴史について考える。(Think 2)	記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に把握し、指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。	チョコレートの歴史やフェアトレードについてほかの人に伝えるために、スピーチ原稿を読んで、概要や要点を捉えている。	記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に把握し、指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。
6	- 本文の確認と音読練習をする。 - フェアトレードについて考える。(Think 3)		チョコレートの歴史やフェアトレードについてほかの人に伝えるために、スピーチ原稿を読んで、概要や要点を捉えている。	

7 本 時	本文の音読をし、本文の内容について自分の言葉で話す。 (Retell)		チョコレートの歴史やフェアトレードについてほかの人に伝えるために、簡単な語句や文などを用いて、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話している。	
8	- ある人物やものなどを想定してスリーヒントクイズをする。 - 好きな人物やものについて書く。 (Interact)		相手にわかってもらえるように、ある人物やもの、キャラクターについてクイズを出したり、答えたりしている。	自分の好きな人物やものについて友達に伝えるために、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。

7 本時の指導

(1) 本時の目標

- チョコレートの歴史やフェアトレードについてほかの人に伝えるために、簡単な語句や文などを用いて、絵・グラフ・写真を相手に示しながら概要を話すことができる。【思考力・判断力、表現力】

(2) 本時の展開

過程	学習活動と内容	教師の指導・支援 ◎評価の観点
挨拶	○挨拶 今の体調やその要因を英語で話す。	○生徒とやりとりをしながら、徐々に英語の授業へ意識を向けさせる。
帯活動	○1分間英会話（説明クイズ） - 説明者は1分間で人やものに関する写真3枚についてその単語やジェスチャーを使わずにペアの人に伝える。回答者には英単語で説明している内容を当てる。 - 役割を交代して2回行う。	○関係代名詞 that を用いて表現させる。 ○新しい表現の積極的な使用を促す。 Yes. ➡That's right. No. ➡That's (completely) different. So close! Almost!

目標確認	○本時の目標を確認する。	
	絵・グラフ・写真を相手に見せながら、ストーリーの内容を伝えよう。	
	○この授業で目指すレベルを4つの中から選ぶ。	○頑張ればできそうな少し上のレベルを選択させる。
	Level 4 : 1つの写真に対して、2文以上で説明し、自分の感想を加えることができる。 Level 3 : 1つの写真に対して、1文以上でペアに説明できる。 Level 2 : キーセンテンスを教科書から抜き出して、何も見ないで伝えることができる。 Level 1 : キーセンテンスを Read and look up で伝えることができる。	
	○目標にたどり着くための手順を確認する。 Step1 : 本文の音読 Step2 : キーセンテンスの暗唱 Step3 : 感想を伝える表現の追加	
音読練習	○スペルと音を結びつける練習 (1)読めない単語に <u>下線</u> を引く。 (ワークシート) (2)Think1～3の音声を聞く。 (3)教師の後に続いて英語を読む。 (4)個人練習	○英文の内容ではなく、単語のアクセント、音の結びつき、文のイントネーション、間の取り方に意識を向けさせる。
音読練習	○音と意味を結びつける練習 (1)Think1～3の日本語訳を配付し、黙読する。 (2)内容をイメージしながら1文ごとに英語を読み、生徒の後に教師が日本語を読む。 (3)個人練習	○ゆっくりでも英語を左から右に戻ることなく英語の語順で理解しながら音読するように促す。 ○Level3・4を目指す生徒には、個人練習で Read and look up に挑戦させる。
Reproduction	○Reproduction ・教科書 P69 の絵・グラフ・写真を説明するために使えそうな英文に <u>波線</u> を引く。 ・ <u>波線</u> を引いた英文を写真だけを見て何言えるように個人練習をする。 ・ペアに自分のワークシートを渡して、話せるかお互いにチェックする。	○欲張りすぎず、自分が写真だけを見て話すことができる分量に限定させる。

Retell	○Retell ・自分の感想を伝える表現を知る。 (例) I' m surprised that～. I didn' t know that～. ・ペアで写真を示しながらストーリーを説明する練習をする。 ・ギガタブの発表ノートで録画したものを提出する。	○自分の目指すレベルに合わせてペアで練習をさせる。 ◎簡単な語句や文などを用いて、絵・グラフ・写真を相手に示しながら概要を話すことができたか。【思考力・判断力、表現力】
振り返り	○振り返り ・自分の目標と照らし合わせて振り返りを記入する。	○ワークシートを回収する。

(3) 本時の評価

- ・チョコレートの歴史やフェアトレードについてほかの人に伝えるために、簡単な語句や文などを用いて、絵・グラフ・写真を相手に示しながら概要を話すことができたか。

【思考力・判断力、表現力】